

一般質問通告書

令和7年11月24日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 1番 井上 佳郎

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は 1. 全項目一括質問一括答弁
 2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号2)	滋賀県観光キャンペーン戦国ディスカバリーを契機とした高島の歴史資源の魅力発信について
---------	--

要旨（項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。）

令和8年1月からNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」が放送される予定です。びわこビジターズビューロー主催の滋賀県観光キャンペーン「戦国ディスカバリー」が11月から来年12月まで実施され滋賀県各地で誘客イベントが予定されています。

高島市内においても、去る11月15日に実施された、戦国ディスカバリーツアー「信長の朽木越えと賤ヶ岳と古戦場ツアー」の他高島市内の飲食店も参加する「戦国メシ」周遊ラリー、市内二か所がスタンプラリースポットの「豊臣一族ゆかりの北近江デジタルスタンプラリー」、市内二か所の城（城跡）がスタンプラリースポットの「湖国名城万華鏡デジタルスタンプラリー」が展開され、他にも歴史探訪ツアーの団体イベントの紹介がされています。

令和2年の大河ドラマ「麒麟がくる」放送時に実施された観光キャンペーン「戦国ワンダーランド」も高島市への誘客の効果があつたと思われ、高島市をはじめ滋賀県内各地の魅力そして、滋賀県の

魅力を発信出来たキャンペーンであったと思われます。

今後、高島市においても「たかしまの戦国」を活かした誘客促進事業や大溝城築城450周年事業が予定されているが、観光施策や文化財保護等を進めていく上で、滋賀県や他の市町と連携していくことが重要と考え以下のとおり問う。

①去る11月23日には第24回近江中世城跡「琵琶湖一周のろし駅伝」が開催されました。

「のろし駅伝」はびわ湖を取り巻く城跡から、「駅伝」のタスキを渡すように次々とのろしを上げ、城への“情熱＝城熱”を繋いでびわ湖を一周するイベントです。

滋賀県は中世近世に城館が約1300か所も築かれ、高島市内でも80か所を超える数の城跡が残されています。今回の「のろし駅伝では」清水山城・伊井城・田屋城でのろしが上がりましたが、過去には田中城・打下城・日爪城が参加した年もあります。それぞれの城は地域住民を中心とする団体が維持管理を行っています。

また令和元年には「COOL JAPAN AWARD 2019」に近江湖西の山城と水城が認定されました。「COOL JAPAN AWARD」は日本中に埋もれているモノ・コト・カルチャー・スポットを掘り起し、外国人の眼で客観的に「クールかそうでないか」で評価し認定を行う制度です。

このように高島市には清水山城をはじめとする山城や水城で有名な大溝城があり、これを資源としてさらに活用することについて検討されているか。

②大溝城は織田信長が目指した安土城・長浜城・坂本城をつなぐ湖上ネットワークを完成する為に明智光秀に縄張を行わせ、織田信澄が築城しました。来年は安土城築城450年にあたり沢山のイベントが予定されています。

また、大溝城は3年後の2028年（令和10年）に築城450年を迎えます。築城450年を契機に信長の湖上ネットワークを形成する大溝城の魅力を広域的に発信するべきと考えるがどうか？

③大河ドラマ「豊臣兄弟！」放映にあわせて「たかしまの戦国」を活かした誘客促進事業が予定されています。

○誘客イベント開催事業

大河ドラマ「豊臣兄弟！」トークイベント

○魅力発信事業

1 モデルツアーや企画 2 情報発信事業等が予定されています。

戦国期においては、朽木地域に足利12代・13代将軍が京から避難し、別名「朽木幕府」と呼ばれた岩神館跡が存在し、また、信長の金ヶ崎の退き口の際、京まで帰還する為に朽木領を通過するときに一時、留まった「信長の隠れ岩」があり、それに伴った織田信長のエピソードもあります。

更に、今津浦は加賀から前田利家が大阪へ向かう途中の休憩所として豊臣秀吉が交通の要衝である今津村・弘川村を与えたとのエピソードもあります。

他にも高島市には歴史的有名な武将のエピソードがあります。誘客につながる魅力発信についてどう考えているか。